

147 「主よ感謝します」

主よ感謝します 今のこのときを
こころみの中にも 主の平安がある
なにが(なにが) わたしを(わたしを)
主から(主から) はなすのか(離すのか)
悩みか(なやみか) 苦しみか(苦しみか)
飢えか(うえか) つるぎか(つるぎか)
なにものも私を はなすものはない
主の深い愛から はなすものはない

6 主イエスの十字架の血で

主イエスの十字架の血で

わたしは赦され

み神と和解をして 平安を得ました

だから今 すべての悩みを

ゆだねよう

主は心に平和を 満たしてくださる

新聖歌325番 「歌いつつ歩まん」

- 1 主にすがるわれに 悩みはなし
十字架のみもとに 荷をおろせば
* 歌いつつ歩まん ハレルヤ！ ハレルヤ！
歌いつつ歩まん この世(よ)の旅路(たびじ)を
- 2 恐れは変わりて 祈りとなり
なげきは変わりて 歌となりぬ * (くりかえし)
- 3 主はいとやさしく われと語り
とぼしき時には 満たしたもう * (くりかえし)
- 4 主のみ約束に 変わりはなし
みもとに行くまで ささえたまわん * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌259番 「聖いふみは教える」

- 1 聖いふみは教える 神が人となられて
人のために救いの 道を成就(じょうじゅ)したこと
* わたしをも愛して 死なれたお方は
神の子のイエスさま ひとりだけだ

- 2 そんな愛を忘れて 道に逸(そ)れたわたしを
咎(とが)めだてもしないで 迎え入れてくださる
* (くりかえし)

- 3 神の前に行くとき 歌うひとつおぼえの
歌はイエスがわたしを 愛したもうそのこと
* (くりかえし) アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン